

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		狭山緑地用地買収事業費 [狭山緑地用地買収事業]									
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 3	公園費	事業番号	3			
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	環境 課 緑化推進 係					課長名	宮鍋 和志				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 5				
【施策名】 緑の保全・創出						総合計画書 (ページ)	91				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市立狭山緑地				①狭山緑地の全面積 ②民間所有の面積 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	公有地化し、良好な状態で保存し市民に開放できる。				①公有地化がされた面積 ②解放されている緑地面積 →						
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
狭山緑地用地の買収				買収面積 →							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	m ²	①145,642.50 ②30,155.68	①145,642.50 ②30,155.68	①145,642.50 ②30,155.68					
	成果指標	②の数値	①m ² ②ha	①115,269.02 ②14.6	①115,269.02 ②14.6	①115,269.02 ②14.6					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方									
		活動指標	③の数値	m ²	0	0	0				
3 経費	事業費(実績)		円	313,200	319,000	354,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	313,200	319,000	354,200					
		特定財源	円								
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.2	0.1			0.1		
		所要人数(再任用)		人		0.1			0.1		
		職員人件費(再任用以外)		円	1,648,800	831,000			831,000		
職員人件費(再任用)		円		301,000	301,000						
事業費+人件費		円	1,962,000	1,451,000	1,486,200						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和60年度								
	(2) 環境の変化		・地価が下落している。								

事業名称	狭山緑地用地買収事業費 [狭山緑地用地買収事業]			
担当部署・課長名	環境	課	緑化推進	係 課長名 宮鍋 和志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	用地買収における手法の調査	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	地権者の情報収集に留まった。	
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)	
	地権者と定期的な接触を図り交渉をしていく。	
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	
	施策名： 緑の保全・創出 <input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・地権者との交渉	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
		・地価の問題も影響すると思われるが、定期的な接触を図っていく。